令和７年度　授業計画

ビジネス情報科・ビジネス科　２年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	保健体育	科　目　名	保　健　（１単位）
使用教科書	新高等保健体育（大修館）	副教材等	新高等保健体育ノート（大修館）

１　科目のねらい（目標）

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。

健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

２　科目・授業の内容と進め方

「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び高齢社会に対応した取り組み、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解します。

「健康を支える環境づくり」では、社会生活における健康の保持増進には、環境や食品衛生などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、我が国の保健・医療体制や機関を適切に活用することが重要であることについて理解します。

３　学習の方法

・教科書に書かれている内容について、できるだけ具体的で身近な内容としてとらえることが大切です。インターネットや新聞記事などでの調べ学習も必要です。
・副教材の「新高等保健体育ノート」の記入を確実に行い、理解を深めます。ノートは　黒板に書かれていることを写すだけでなく、自分の考えや大切だと思われることをしっかり記録することができるようにしましょう。

４　課題・補習について

・「新高等保健体育ノート」の点検を随時行います。
・必要な場合には、課題の提出を求めます。

５　観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについて深く理解するとともに、思春期から中高年期にかけて起こる心身の変化や労働に関わる健康保持など、得た知識を自らの生活に活かすことができる。	生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。自分を取り巻く環境が日々変化していることを理解し、それに対して柔軟な対応ができる。

ビジネス情報科・ビジネス科　２年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	保健体育	科　目　名	保健　（１単位）

６　年間の学習計画

月	単　元　名	教　　材	学　習　の　内　容	評価方法（課題等）
4 5 6 7 8 9	生涯を通じる健康	１思春期と健康 ２性意識の変化と性行動の選択 ３結婚生活と健康 ４妊娠・出産と健康 ５家族計画 ６加齢と健康 ７高齢社会に対応した取り組み ８働くことと健康 ９労働災害の防止 10働く人の健康づくり	生涯にわたって健康を保持増進させるためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが重要であることを理解する。 保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが生涯を通じた健康の保持増進には重要であることを理解する。 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 （調べ学習） **前期期末考査**
10 11 12 1 2	健康を支える環境づくり	１大気汚染と健康 ２水質汚濁・土壌汚染と健康 ３健康被害を防ぐための環境対策 ４環境衛生に関わる活動 ５食品の安全性と健康 ６食品の安全性を確保する取り組み ７保健制度とその活用 ８医療制度とその活用 ９医薬品の制度とその活用 10様々な保健活動や対策 11誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する。 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。 医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使うことが有効であることを理解する。 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることを理解する。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 （調べ学習）
3				**学年末考査**